

日本と国際社会の 平和と安定のために

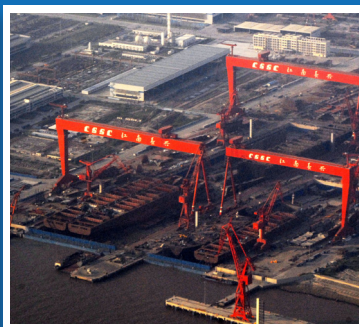


日本は、国連安全保障理事会の常任理事国入りを目指す（上）。北朝鮮による軍事的脅威に、アジアそして世界はどう対応すべきか（左は 2009 年に行われた北朝鮮によるミサイル演習、右は 2010 年 11 月に起きた延坪島砲撃事件の様子）。[写真 / AFP = 時事]

大国化する中国の軍事力



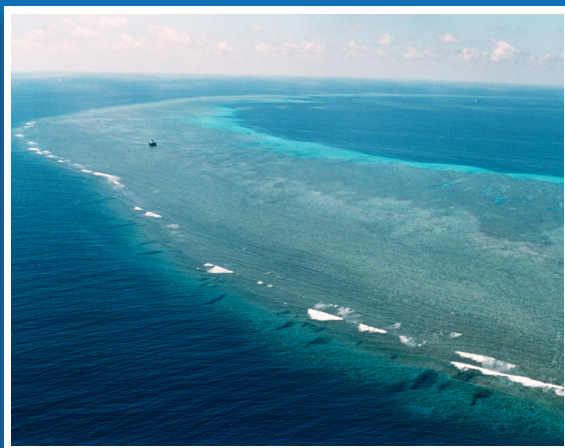
2011年1月に試験飛行を行ったとされる、
中国の次世代ステルス戦闘機「殲20」。
[写真／KANWA NEWS／AFP＝時事]



中国は空母建造の正当性を主張している。
写真は、空母建造予定地と一部で伝えられる造船所。
[写真／Record China]



スプラトリー諸島に建造物を構築し、
駐屯している中国海軍。
[写真／Record China]



南シナ海のスプラトリー諸島は、フィリピン、
中国、台湾、ベトナム、マレーシア、ブル
ネイが領有権を主張している。
[写真／AFP＝時事]

日中・日ロ関係の改善は



2010年11月、北方領土・国後島を訪問したメドベージェフ・ロシア大統領。
[写真／AFP＝時事]



昨年9月の事件後も、沖縄県・尖閣諸島周辺の日本の接続水域には、中国の漁業監視船が見られる。
[写真／時事]

日本の、今後の取り組み



日米同盟のさらなる深化が課題となる。写真は、日米共同演習で米空母に着艦する海自ヘリ。[写真/時事]



日本はアジアに回帰すべきか。2010年10月にベトナムで行われたASEANプラス日中韓首脳会議に臨む菅直人首相（右）。[写真/AFP=時事]